ここが聞きたい！

いっぱん

公共施設総合管理計画実施に当たり町民の意思・意向を反映すべきでは

石原武志 議員

町長 議員からも提案を

問 学校等の耐震化計画と公共施設総合管理計画及び計画策定と進捗状況を問う。

答 江角財産管理室長

公共施設等総合管理計画はインフラも含め現在策定中である。学校等を含む公共施設の耐震改修は奥出雲町建築物耐震化促進計画により実施されている。本年度の策定の次期計画の中で検証する。

問 地方創生を進める中、学校を含む公共施設の管理・運営は町民の大きな関心事。より効果的に策定を進めてほしいが進行度はどうか。

答 江角財産管理室長

期待に応えるべく努力する。

問 インフラを含め公共施設の維持管理は、今後の人口等事情を踏まえ町民の意思を反映すべく議会も一緒になって討議すべき。町長の考えは。

答 公共施設の管理運営については状況を十分調査し方向づけを決めたい。議員からも提案を。

問 老朽化した空き家等の把握はどのように進んでいるか。

答 森長地域振興課長

平成24年度に自治会を通じ行っている。家屋状態等の詳細は把握していないが、自治会要望等により対応している。

問 論議の高まっている現在、さらなる対応策は。

答 森長地域振興課長

法律やガイドラインに沿って条例化や体制づくりを検討していきたい。

問 基幹産業である農業・畜産業にかかわる施策と現状併せて人口対策にからめ農・畜産業のUターン者・その潜在的な存在や後継候補者の把握について問う。

答 舟木農業振興課長

まず米価下落の中、酒米・もち米は信頼も高く高需要だが、酒米は栽培技術も専門性が高く農家数は伸び悩んでいる。仁多米の中核コシヒカリを中心とした生産体制の転換はせず、生産調整を進め仁多米の米価安定に努めていく。畜産では子牛市場が高値で安定しているが、飼養農家戸数は後継者不足の進行により減少しつつある。頭数では県内で唯一増頭し畜産振興に成果を残した。農家の後継者・新規就農者については個人的な情報のため共有化はしていない。U・Iターンに限らず自営・新規参入を目指す認定新規就農者には県と連携し把握に努めている。

問 少しずつ、諸施策が実を結んでいる状況が認められると感じる。それ以上に農家の就業や後継者を増やすためには地元出身者のUターンを促進することが大切と思う。卒後数年後、あるいは定期的に地元の情報や・政策案内等出身者に提供したり、Uターンの促進の手助けができないか。

答 本町の基幹産業は農業である。U・Iターンで来る人はいろいろあるが、将来この地を引き継ぐ多くの人は地元で親や祖父母の姿を見て育った人たち。そんな後継者が残り、どんな職業にあっても、たとえ休日農家であろうとこの町づくりを担ってほしいと願うしそうあるべきと考えている。

子牛共進会（横田畜産センター）